



福生二中だより

No.1

令和7年4月11日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

応援されると頑張れる

校長 平井 貞昭

満開の桜の中、今月8日に118名の新入生を迎え、全校生徒がそろって令和7年度がスタートいたしました。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、御進級、誠におめでとうございます。

始業式と入学式の生徒の姿を拝見すると、一人一人、みなぎる自信と力にあふれ、そのオーラが伝わってきました。



4月は、学年が一つ上がり、一人一人が新たな気持ちで学校生活を始めようとしていると思います。そしてこのタイミングで、新しいことを始めたり、今まで頑張れなかったことを頑張ろうとしたり、新しい友達と仲良くしようとしたり、今までの自分を変えようとしたりと何かを変えようとする人が多くいると思います。そのような人たちをお互いに応援し合ってほしいと思います。先生から応援されたり、友達から応援されたり、親から応援されたりしたら、頑張れると思います。だから、4月は新たな夢や希望をもっている人を応援する月にしてほしいと思います。そして、うまくいかないことがあっても入学式でお話した下に載せてある「よかった探し」をすれば、また頑張れると思います。学校中でお互いに応援し合える雰囲気ができれば、とても素晴らしいことです。

新入生の皆さん、今日から福生第二中学校での生活が始まります。今、みなさんは、期待と不安が入り交じっていることと思います。でも、小学校の卒業式で校長先生方が君たちに送ってくれたエールを思い出してください。自分たちでよく考え判断して生き抜くこと、前向きに希望をもって生きていくこと、仲間や絆を大切にすることそれらを力として生活すればきっと大丈夫です。

さて、みなさんに、今日からぜひ取り組んでもらいたいことが一つあります。それは、「よかった探し」です。『失敗したり、うまくいかなかったりすると、「がっかり」したり、「自分は、ダメだ」と思ったりしてしまうことがあると思います。でも、そんな時、「よかった探し」に取り組んでみてください。』

この「よかった探し」とは、うまくいかない事が起こった時、そこから、「よかった」と思えることを「探す」ということです。起こった事は変えられません。でも、そこから次にどうするか考えることでその後の生き方は変えられます。

例えば、一生懸命勉強したけれど、テストでいい点が取れなかった。そのとき、「がっかり」するのではなく、そこから、「今回の勉強は、時間が少なかったな、やり方がうまくなかったなということが分かってよかった」とか「そういえば私の勉強を親が応援してくれていたな」とうまくいなくても、「よかった」ことを探してみる。これが「よかった探し」です。

そうすれば、きっと新たな未来が開け、君たちの人生が良い方に向かっていくと思います。

そして、みなさんが卒業式で堂々と伝えた門出の言葉、その言葉を尊重して、そのことを誠実に実行してください。そうすることをインテグリティと言います。このインテグリティにチャレンジしてください。

また、昨年度に引き続き、「魅力ある学校づくり」を推進していきます。具体的には

- ① 全ての生徒が活躍できる、学級や学年づくり
- ② 「楽しい」「頑張った」「分かった」と感じられる授業づくり

に重点をおき、生徒が夢や希望をもち、通いたくなるような「魅力ある学校」を目指します。

保護者の皆様ならびに地域の皆様におかれましては、引き続き本校に対する御理解と御支援をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。